



第 46 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：ニューノーマル時代の学びのサステナブル化を支える教育システム技術

<https://www.jsise.org/taikai/2021/>

- 開催日時： 2021 年 9 月 1 日(水) ～ 9 月 3 日(金)
- 会 場： 1 日目：広島市文化財団西区民文化センター&オンライン(メインイベント)
2, 3 日目：オンライン(プレカンファレンス, 口頭発表, インタラクティブセッション)
*変更の可能性あり
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 全国大会の実施方法について

第 46 回全国大会のプレカンファレンス, 口頭発表(企画セッション/一般セッション), インタラクティブセッションはオンラインで実施することになりましたが, 参加者の皆さまが少しでも対面で交流ができますよう, メインイベントのみですが対面とのハイブリッドで実施できるように調整を進めております. ハイブリッドの導入に伴い, 大会のプログラムが例年とは異なる構成になっておりますので, ご注意ください. 詳細な実施方法につきましては, 決まり次第アナウンスいたします.

なお, 今後のコロナウィルスの感染状況によってはすべてオンラインに変更する可能性もありますので, ご留意ください.

■ 大会日程 (予定)

9 月 1 日 (水)	
午前	オープニング(会長・開催校挨拶), 基調講演
午後	企業セッション, 各種表彰, 大会メイン企画
9 月 2 日 (木)	
午前	プレカンファレンス
午後	一般・企画セッション, インタラクティブセッション
9 月 3 日 (金)	
午前	一般・企画セッション
午後	一般・企画セッション, インタラクティブセッション・学生研究特別セッション, クロージングセッション

(*) 大会日程は変更される可能性があります.

■ 大会までのスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2021 年 6 月 9 日(水) 投稿締切
- 2021 年 6 月 10 日(木) 参加申込開始
- 2021 年 7 月 8 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2021 年 8 月 3 日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2021 年 8 月 13 日(金) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2021 年 8 月 ~~16 日(月)~~ 28 日(金) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員： 7,500 円 学生会員： 3,200 円 非会員(学生以外)： 10,800 円 非会員(学生)： 5,400 円 論文掲載料： 1,000 円(論文一編につき)	当日申込は実施いたしません。 必ず事前申込をお願い致します。

第 46 回大会では当日申込中止に伴いクレジットカードでの事前参加申込を 8 月 28 日(金)まで延長しております。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは 8 月 22 日(日)までとなりますのでご了承ください。(8 月 23 日(月)以降に新規お申し込みされた場合でもキャンセルができませんのでご注意ください。)

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ プレカンファレンス

6 月下旬頃に Web サイトに掲載予定です。

○ 企画セッション

1. SEL(Social and Emotional Learning)の高等教育への適応
2. 教育 DX を支える LA(Learning Analytics)の多面的検討
3. 先進的学習メディアを用いた新しい学習体験の創出
4. データサイエンス教育におけるモデルカリキュラムとプログラミング教育
5. ニューノーマル時代の医療者教育
6. 教育 DX と実世界指向学習環境
7. 次世代の人材を育成するため変革する教育システム

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2021 年 8 月 23 日(月)に大会参加者のみに公開され、2022 年 3 月 1 日(火)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



2021 年度研究会開催スケジュール

2021 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (<https://www.jsise.org/society/committee.html>) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 2 回	ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般	7 月 17 日 (土)	北星学園大学	6 月 3 日 (木)	6 月 17 日 (木)
第 3 回	対面・オンライン授業支援／一般	9 月 24 日 (金)	高知大学 朝倉キャンパス	8 月 5 日 (木)	8 月 25 日 (水)
第 4 回	身体的・認知的スキルに関わる支援技術／一般	11 月 13 日 (土) または 11 月 14 日 (日)	北陸先端科学技術大学院大学 金沢オフィス または 旭台キャンパス ハイレックス (またはオンラインのみ開催) に対応予定	9 月 22 日 (水)	10 月 14 日 (木)
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習環境／一般	2022 年 1 月中を予定	徳島大学 (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定
第 6 回	Society 5.0 に対応したデータサイエンス教育の実践	3 月中旬	大阪教育大学柏原キャンパス (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定
特集	未定	3 月中旬	大阪教育大学柏原キャンパス (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



2021 年度 第 2 回研究会 開催案内

担当者：不破泰、小松川浩、布施泉、野崎浩成、金子大輔（研究会委員会）

■テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

■開催日時：2021 年 7 月 17 日（土）

■開催場所：【オンライン開催】

※当初は北星学園大学での開催を予定しておりましたが、オンラインでの開催に変更いたしました。

■発表申込締切：2021 年 6 月 3 日（木）

■原稿提出締切：2021 年 6 月 17 日（木）

■趣旨：

現在、教育現場においては、ICT を活用した多様な学習支援が行われています。新型コロナウイルス感染拡大への対応だけでなく、児童・生徒・学生の学力格差、地域間の教育格差などの問題を乗り越えるためにも、ICT を活用した学習支援の重要性はますます高まっています。また、高大連携改革などの流れの中で、各教育課程における質保証に関する議論も行われています。こうした状況に対しても、ICT を効果的に活用することが必要になってきています。そのため、本研究会のテーマを「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」としました。ICT を活用した学習支援、教材システム、学習支援の環境や技術、学習コンテンツの開発・評価など、e-Learning や学習支援に関する研究だけではなく、そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育的な効果や有効性に関する研究を広く募集します。これらの研究を通じて、学習支援のあり方や教育の質保証について検討し、現在のさまざまな教育の課題に切り込み、解決の糸口を探ることを目指します。また、システム開発やコンテンツ作成をはじめ、教育実践や教材評価、カリキュラムの設計、学習科学、言語教育など、教育やシステムに関連した幅広い分野からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お問い合わせの上奮ってご参加下さい。

■発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分、質疑 7 分、入れ替え 1 分）を予定しております。

■研究会への参加方法：

2021 年度研究会より、研究発表及び研究会参加には、研究報告の年間購読または購入が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。研究会への参加と研究報告の購入・閲覧については、<https://www.jsise.org/participate.html> をご覧ください。

事前参加申込（研究報告の購入）は、6 月 18 日 9 時に開始します。

■お問い合わせ先：金子大輔（北星学園大学、第 2 回研究会担当委員）

E-mail: kaneko[at mark]hokusei.ac.jp（[at mark]の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2021 年度 第 1 回研究会 開催報告

担当者： 加藤泰久，北村士郎，仲林清，真嶋由貴恵，松居辰則，森本容介（研究会委員会）

テーマ： DX 時代に向けた学習環境の変革／ヘルスケア分野における ICT 活用の高度化／一般
※学習分析学会と合同開催

開催日時： 2021 年 5 月 8 日（土）10:15～17:50

開催場所： オンライン開催（Zoom）

発表件数： 16 件（原稿なし発表 2 件を含む）

今年度の第 1 回研究会は、「DX 時代に向けた学習環境の変革／ヘルスケア分野における ICT 活用の高度化／一般」をテーマに開催致しました。なお、今回も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点から Zoom を用いたオンラインで開催致しました。テーマに沿った多種多様な研究対象，研究方法論による 16 件の研究発表が行われました。特にオンラインの学習や教育に関する実践研究，システム（サービス）開発研究が多く行われました。オンラインの学習や教育に関しては本学会としても様々な観点での研究事例，実践事例を蓄積・体系化した上で社会に向けて発信することは重要な取り組みであると考えられます。今回は森田晃子様（サンライトヒューマン TDMC 株式会社，熊本大学大学院），北村隆始様（テルモ株式会社）から「DX 時代に向けたインストラクショナルデザインによる教育パラダイムの変革～2 人の IDer の 10 年間の企業実践事例から～」というタイトルで招待講演をいただきました。ビジネスインストラクショナルデザインの理論的な枠組みとその実践事例をご紹介いただきました。オンラインを効果的に活用したまさに DX 時代を志向したインストラクショナルデザインの可能性をお示しいただき，この知見は企業のみならず各種教育機関における授業設計にも適用可能であるとの印象を受けました。さて，当日の参加者は事前登録で 51 名，常時 45 名を超える接続参加があり，いずれのセッションでも対面開催と同等またはそれ以上の活発な議論が行われました。発表者，参加者の皆様のご協力もあり特段のトラブルもなくすべてを予定通りに進めることができました。なお，本研究会は学習分析学会研究会との合同開催で行いました。学習分析学会からは 4 件の発表と 32 名の参加者があり，こちらも活発な議論が行われました。さて，研究会のオンライン開催のノウハウも蓄積されてきましたので，今後の技術の発展も期待しつつ，研究会の開催方法として対面とオンラインの併用（ハイフレックス形式）は一般的な開催形式として位置づけることができるかもしれません。遠隔地から発表・参加もしやすくなり，研究会を超えての意見交換，情報交換が活発になることで研究会全体の質的向上への期待も高まります。なお，研究発表のタイトルは，次のページの通りです。

2021 年度 第 1 回研究会 開催報告研究発表タイトル

- LINE チャットボットを用いた自己肯定感を高めるシステムの提案
- チャットボットを用いた医療職の業務支援ツールの基本設計の検討
- FIDO2 セキュリティキーによる 2 要素認証およびパスワードレス環境の実現と出席管理への応用
- 産学連携 PBL 科目における企業担当者が学習者に与える影響の考察ープロジェクトマネジメントおよび TCI 理論による分析ー
- ARCS モデルを活用した下肢筋力低下予防のためのリフティングトレーニングシステムの評価
- 議論における発言の仕分けに着目したファシリテーションの学習手法
- 福祉専門職養成教育における実習及び実習指導での ICT 活用に関する先行研究レビュー
- 車いすによる段差乗り越え介助に関する技術指標と教育システムの考案
- カラオケによる若者の認知機能・精神面の変化に関する研究 ～デジタル認知症の予防教育プログラムの開発に向けて～
- オンライン模擬カルテシステムを利用した主体的で対話的な学習の試み
- 医学生・看護学生に対する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」の授業構築に関する取り組みと考察
- 確率分野の文章題を対象とする作問学習手法
- 小学生のプログラミング思考過程の調査
- ハイフレックス型授業における出席管理の 1 例
- グループディスカッション遠隔指導支援のための SHAP 値による特徴量重要度の分析
- 観点を反映した深層学習および強化学習による学術論文の自動要約生成



「ラーニングイノベーショングランプリ 2021」応募受付開始

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

JSiSE が 2016 年度より共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリが今年度も開催されます。昨年度（2020 年度）は、コロナ禍のために開催を見送らざるを得ない状況となりましたが、今年度はオンライン形式にて再開することとなりました。

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

皆様の研究成果を論文評価とは異なる目で見えていただける機会であり、毎年多くの作品が応募され、産業界からのフィードバックを得られております。是非ご応募をご検討ください。

【スケジュール】

5 月 25 日（火）：応募受付開始

8 月 02 日（月）：応募受付〆切（昼 12:00〆切）

8 月 12 日（木）：一次審査結果発表

9 月 13 日（月）：二次審査用動画〆切（昼 12:00〆切）

9 月 21 日（火）：二次審査結果発表

10 月中旬：オンラインイベント「ラーニングイノベーション 2021」内で審査講評

【公式サイト】

<https://ligp.gingerapp.co.jp/>

★これまでに受賞された研究がアーカイブス「ラーニングイノベーショングランプリ・アーカイブス」としてまとめられております（https://ligp.gingerapp.co.jp/?page_id=1845 にてご覧いただけます）。紹介動画もございますので、是非ご覧ください。

主催：マイクロラーニングコンソシアム（mLC）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協力：日経 BP、ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：イーラーニング、サイコムブレインズ、ユームテクノロジージャパン、WARK



2022 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久（大阪府立大学）

「 Society 5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと
人材育成支援に関わる教育システム 」

論文投稿締切：2021 年 6 月 1 日（火）（予定）

2022 年 4 月 1 日 発行（予定）

新型コロナウイルスへの社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本特集号では、転換が加速する「Society 5.0 時代に向けた教育システム」に関する論文を募集いたします。「Society 5.0」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナウイルスの影響下でのオンライン学習の実践は、まさに Society5.0 社会に向けた経験知を醸成しています。フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開され、学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。そのような分析に携わる AI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に付けた人材育成も急務であり、それに関わる教育システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。

1. 対象分野

開催延期となった東京五輪に向けたスポーツテック導入に基づく教育（トレーニング）、また自治体では、コロナ感染の対処も含めオープンデータを活用した災害・防犯教育のシビックテックも見られ、幅広い分野の教育にレジリエントな社会の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)が期待されます。Society 5.0 時代への転換を見据え、高等教育機関等における AI・数理・データサイエンス教育等に関わる論文に加え、リカレント教育も含めた、今後の「Society 5.0」に向けた教育発展に寄与するオンライン学習の実践の論文を募集します。また、先行的な取り組みとしての情報教育（IoT を含むプログラミング、カリキュラム設計等）、さらに、遠隔医療、農業、建設業も含めた幅広い分野の教育において、先端技術（5G・ロボット・ドローン・ブロックチェーン等）の活用を見据えた人材育成の支援の取り組みに関する教育システムの論文も広く募集いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会(2021 年 3 月 20 日(土))で発表を行った方は、投稿情報入力の際に 「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

論文投稿締切：2021年6月1日（火）→ 2021年6月16日（水）に〆切延長※

採録通知予定：2021年12月初旬まで

学会誌掲載：学会誌Vol. 39, No. 2, 2022年4月1日発行（予定）

※なお、6月2日(水)以降に原稿提出いただく場合、原稿の投稿に先立ち、6月7日（月）正午までに下記、事前投稿エントリーフォームに必ずエントリーをお願いします。事前の投稿エントリーがない場合は、一般号として受理することがあります。

2021年度論文特集号 事前エントリーフォーム：※ 6月7日（月）正午まで

<https://forms.gle/CLJZ3yWXcvHKgJKf6>

5. 特集号編集委員会

委員長：	瀬田 和久(大阪府立大学)
副委員長：	村上 正行(大阪大学)
筆頭幹事：	松田 憲幸(和歌山大学)
幹事：	後藤田 中(香川大学)，田中 孝治(金沢工業大学)
幹事補佐：	近藤 伸彦(東京都立大学)，山元 翔(近畿大学)
委員：	学会誌編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 後藤田 中（香川大学） E-mail: gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp
(「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

Web投稿： 編集事務局

電話： 03-5389-6492

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

(「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）Vol.1 は 2021 年 4 月に一部公開され、準備のできた原稿より順次公開されます。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。

6 月中に投稿された原稿に関しては Vol.1 に掲載される可能性があります。また Vol.2 への掲載論文も募集しています。投稿後、7 か月までには、採録の可否を決定・通知する予定ですので、短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - ・査読者は 2 名（Short Paper は 1 名）で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - ・評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - ・投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

関東支部より活動報告



関東支部 2021 年度支部総会 開催報告

関東支部 支部長 松居辰則（早稲田大学）

教育システム情報学会関東支部の 2021 年度支部総会を、2021 年 5 月 22 日（土）にオンラインで開催いたしました。支部総会の出席者 22 名と委任状 61 名、計 83 名により総会が成立致しましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。なお、支部長・副支部長については、6 月 26 日に開催される社員総会での承認をもって交替する予定です。また、支部活性化を目指して運営委員の増員と担当の再構成を検討したいと考えております。

支部長：山本 樹（明海大学）

副支部長：大河 雄一（東北大学）、國宗 永佳（千葉工業大学）

幹事：松居 辰則（早稲田大学）、辻 靖彦（放送大学）

運営委員：

総務担当：佐々木 整（拓殖大学）

財務担当：中嶋 竜一（デジタル・ナレッジ）

企画担当：國宗 永佳（千葉工業大学）※兼務

広報担当：辻 靖彦（放送大学）※兼務

監査：加藤 泰久（東京通信大学）

植野 真臣（電気通信大学）

大崎 理乃（東京都立産業技術大学院大学）

柏原 昭博（電気通信大学）

小島 一晃（帝京大学）

田和辻可昌（早稲田大学）

東本 崇仁（東京工芸大学）

仲林 清（千葉工業大学）

長谷川 理（武蔵野大学）

山崎 治（千葉工業大学）

渡辺 博芳（帝京大学）

根本 淳子（明治学院大学）

2. 2020 年度の活動報告・2021 年度の活動予定

3. 2020 年度の決算報告・2021 年度の予算計画

2021年度は2022年3月上旬に学生研究発表会を開催する予定です。さらに、2021年11月頃に産業・学術・教育実践の3分野連携による新たな学びの共創を目指したイベント「リサーチ・コ・コ・コモنز」を東京近郊で開催する予定であります。いずれも新型コロナウイルスの感染状況が引き続き気になるところではございますが、状況を常に確認し続けながら収束する状況でしたら対面で、そうでなければオンラインもしくは対面とオンラインを併用する形式で実施したいと考えております。開催の際には、支部会員の皆さまのご協力とご参加をいただけましたら幸いです。

4. その他

今後は新支部長就任に伴い、支部活性化のための人的基盤の構築と広報を行うことをより一層重点化したいと考えております。

末筆になりますが、今後も支部会員ならびに学会員の皆さまより、本支部の活動へのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

関西支部より活動報告



2021 年度関西支部総会 & 第 1 回研究会開催報告

教育システム情報学会関西支部の 2021 年度支部総会と第 1 回研究会を 2021 年 5 月 16 日（日）にオンラインで開催いたしました。支部総会の詳細は、関西支部ウェブページを御覧ください。第 1 回研究会は次の通り開催しました

パネルディスカッション「高等教育機関におけるオンライン授業と評価」

日時： 2021 年 5 月 16 日（日）13：45～15：30

開催： オンライン

- ・〈スピーカー〉 樋口 三郎先生（龍谷大学）
〈演題〉 オンデマンド科目での自動生成採点ランダム問題による評価
- ・〈スピーカー〉 尾崎 拓郎先生（大阪教育大学）
〈演題〉 オンライン・オンデマンドだからこそ改めて心がけるべき事項
～大規模人数の情報基礎科目の実施を通して～
- ・〈スピーカー〉 村上 正行先生（大阪大学）
〈演題〉 オンライン授業における評価のポイントとオンライン試験の実際
- ・〈コーディネータ〉 松田 憲幸（和歌山大学）

高等教育機関におけるオンライン授業と評価について、オンライン形式でパネルディスカッションを開催した。最初に、各スピーカーより講演をいただき、参加者から質問について議論を行った。樋口先生には「オンデマンド科目での自動生成採点ランダム問題による評価」について、数学科目のオンデマンド授業の実践より、多数の問題を活用する評価方法を実際の記録をベースに解説いただいた。尾崎先生には、「オンライン・オンデマンドだからこそ改めて心がけるべき事項」について、実践された授業から、学習コンテンツの配置方法、授業と試験での問題の活用法など、授業設計に凝らされた工夫点を解説いただいた。村上先生には、「オンライン授業における評価のポイントとオンライン試験の実際」について、全学のオンライン授業を俯瞰し、評価法の普遍的なポイント、および、学部間の考え方や工夫の違いを紹介いただき、さらに、記録の分析結果を元に成績との関係を解説いただいた。参加者には、講演や休憩の間に、各スピーカーへの質問等をチャットへ入力いただいた。質問には、それぞれの実践での授業者の役割や、教材の詳細な活用方法について、授業目標と試験方法との関係について、また、対面とオンラインでの成績への影響など、多くの質問が寄せられた。参加者とスピーカーとの間で活発な対話がなされた。



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

✧ 2021 年 5 月 28 日現在，フォロワー数 255 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

✧ 2021 年 5 月 28 日現在，いいね 446 件，492 人フォロー





他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援「第2回学力向上アプリコンテスト」

日時：2021年3月15日（月）～11月20日（土）

会場：オンライン開催

協賛「第23回日本感性工学会大会」

日時：2021年9月2日（木）～9月4日（土）

会場：オンライン開催



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2020 年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。なお、2 月上旬に 2021 年度会費納入のお願いをメールでお送りしましたので、合わせてお願いします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2021 年 3 月 20 日～2021 年 5 月 24 日）

会員名	会員種別	会員名	会員種別
宮川 治	正会員	井村 裕	正会員
二木 恵	学生会員	阿部 真由美	正会員（購読）
鈴木 健斗	正会員	金崎 権	正会員
中澤 一 亮	正会員	諏訪 いずみ	正会員
近藤 竜生	学生会員	山田 哲	正会員（購読）
財田 和季	学生会員	矢谷 鷹将	学生会員
馬場 政尚	正会員（購読）	高野 辰之	正会員（購読）
増永 恵子	正会員（購読）	新岡 真弓	正会員
杉江 聡子	正会員	藤堂 健世	学生会員
佐藤 和孝	正会員	小橋 一滉	学生会員
ウィリアムソン 彰子	正会員	平田 篤史	正会員
渋間 澄子	学生会員	用田 歩	学生会員
清光 英成	正会員（購読）	浜本 隆	正会員
新目 紗也	学生会員	庄司 祐希	学生会員
杉山 耕一朗	正会員	奥津 暁夫	学生会員
清水 将吾	正会員（購読）		

（計 31 名）